

# 若草中学校区新小学校開校準備委員会 第7回

1. 日 時：令和7年9月4日（木）18：00～19：30
2. 場 所：佐保地域ふれあい会館
3. 参加者：委員 出席21名 欠席6名 オブザーバー1名  
奈良市教育委員会から3名（教育政策課）

## 4. 内 容

### 【1】 会長より

- ・ この統合再編、新小学校開校事業は、子供たちの教育環境を良好にし、夢と希望を抱く、特別な事業であるということを、今一度、強く認識をお願いしたい。
- ・ 昨年度の議会でも様々な経過を辿ったが、子供不在又は政局の駆け引きに、我々開校準備委員会が巻き込まれることのないようにしていきたい。
- ・ これからも、この開校準備委員会は、令和9年4月の新小学校開校に向けて諸活動に積極的に取り組む所存であるので、委員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いしたい。

#### （鼓阪小バンビーホーム保護者代表の委員会への出席について）

- ・ これまで鼓阪小PTA会長の欠席が続いている状況であるが、本委員会としては、今後も鼓阪小PTA会長と連絡を取り、対話の機会を持つ必要があると考えている。
- ・ 一方で、令和9年度の開校に向けて決めていかなければならない項目が数多くある中で、少しでも鼓阪小保護者からの意見を聞くことは重要であると考えている。
- ・ なお、佐保小バンビーホーム保護者代表は、「PTA会長から情報の伝達がされている」として、本委員会への出席を見送られた。また、併せて「鼓阪小バンビーホーム保護者代表の出席に異議はない」という回答をいただいている。
- ・ 鼓阪小バンビーホーム保護者代表が今後この場に参画していただくことに同意いただけるか。

（出席委員の全員の賛成により同意）

### 【2】 新校舎建設工事にかかる佐保小学校の現状について（佐保小皿木校長より）

- ・ 南校舎の東側部分は完全に解体され、新校舎の基礎工事も進んでいる。併せて、9月からもとの正門から中庭に入っていく辺りについて、発掘調査が始まっている。
- ・ 2週に1度、工事業者と奈良市建築デザイン課と情報共有の会議を行っており、その中で学校からの要望についても伝えながら、調整をしながら進めている。
- ・ 今のところ、工事については順調に計画通り進んでいると、奈良市・工事業者双方から聞いている。
- ・ 騒音についても、できる限りの配慮をして学校の子供たちの教育活動を優先するよう、配慮いただいていると感じている。
- ・ 子供たちの不利益にならないように、学校としてしっかりと伝えるべきことは伝え、工事を進めていければと思っている。

### 【3】 教育委員会からの連絡（教育政策課）

- ・ 前回の会議録の確認を行った。
- ・ 出されていた請願書5件は、採択・不採択が決まらず、議員の任期満了により審議が終了した。
- ・ 8月21日に鼓阪の保護者から新しい請願書が出された。内容は、令和7年3月議会で出された附帯決議を守って工事を進めることや、統合再編については地域の合意なく進めることがないようにといったものである。今

後、観光文教委員会に付託され、この請願についての審議が行われる。

- ・ 佐保小学校では、現在運動場が約半分の広さに制限されており、「子供たちが体を動かす機会の確保」という趣旨から、9月29日よりグラウンド開放を実施する。
- ・ グラウンド開放は学校の管理下ではなく、奈良市教育委員会が行う業務となり、シルバー人材センターに委託して、子供たちを見守る体制をとる。
- ・ グラウンド開放を利用する子供には予め保険に入ってもらいが、工事の影響でグラウンドが狭くなっているという特段の事情を鑑み、今回は一人800円の保険料について奈良市で負担する。
- ・ 解体工事が終わっており、工事現場の視察について開校準備委員会で検討いただければと思う。

#### 【4】新校名募集要項の最終確認について

- ・ それぞれの学校への思い入れから、旧校名を書かれる方も多いと思うが、旧校名が対象外であることが明記されていない状態で結果的に「佐保」や「鼓阪」という名称は外すと、透明性の部分でも説明がつかないのである。「わかっていれば書かなかったのに」となりかねない。(委員)
- ・ 旧校名は対象外であることを明確に書かないと、「鼓阪」や「佐保」ばかりになり、新しい校名が出てこなくなる可能性があるのでは。新しい校名が出てくるような呼びかけにしないといけないと思う。(委員)  
→事務局としても考えたが、記載がなくても「新しい学校の校名を募集します」とすれば伝わるのではないかと、また旧校名を排除する条件をつけるのは問題があるのではと考えた。加えて、「なぜ旧校名はダメなのか」との意見の対応への学校側の負担も考えた。説明責任については、委員会として最終案の選考理由・経緯をしっかりと打ち出して公開していく。(会長・委員)
- ・ 学校側としては、最初から旧校名を排除する文言を入れるのであれば、それは説明できるようにして対応するしかないと考えている。考慮していただくのは大変有難いが、「学校の負担になるから」ということは考えずに、よく議論をお願いしたい。(佐保小校長)
- ・ 数で決まるわけではなく、たとえ1票の意見でも、それが本当に素晴らしいとみんなが思うような名前なのであれば、準備委員会として胸を張って決めればいいと思う。(委員)
- ・ 「新しい小学校の新しい校名募集」というタイトルにするのはどうか。(委員)
- ・ ならやま小中学校のときのように「みなさんの学校にはそれぞれの思い入れがあるのは十分わかっているが、これからの新しい学校のために、新しい学校の校名を考えてください」といった柔らかい表現で示してもいいのでは。(委員)  
(協議の結果、校名募集要項に「旧校名は不可」と明記するのではなく、新しい校名を提案してもらえるような文言を事務局で追記することに決定)

#### 【5】会長より終わりの言葉

- ・ 校名については、方向性を決めることができたので、本日出た意見を踏まえて募集要項に修正を加え、前に進めさせてもらう。
- ・ 工事期間中の子供の見守りについて、8月25日始業式の日から共通のユニフォームを着て、旗を持って、立っていただいている。工事期間中は佐保を中心にしてスタートさせたが、将来的に統合再編後は鼓阪とも協力していければと考えている。
- ・ 通学見守りについては、道路の拡幅などのハード面の方法にばかり頼るのではなく、いかにして地域で子供の安全を見守っていくかを考えて進めていきたいと思う。「ながら見守り」など色々な方法もあるので、地域で啓発していきたい。

次回開催：令和7年11月27日（木）18時予定

新しい学校づくりのお問い合わせ先：奈良市教育委員会事務局教育政策課 TEL0742-34-5386